

視聴覚教育

NO. 355

発行日

21.9.18

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「アーカイブ」

アーカイブとは、記録や資料などをひとまとめにして保存することを表すが、コンピュータの分野では関連するファイルをひとまとめにすることを指す。ネットワークを通じて送受信の手間を軽減したり、ディスクの管理を容易にしたりできる。

平成21年度岡崎市教育研究大会

9月2日(水)、藤川小学校で岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院の大谷尚教授をお迎えし、「ネットワーク社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。発表された11点のレポートの内容を分類すると次のようになる。

- ① 情報モラルについての研究 (3点)
- ② メディアリテラシーを育てる研究 (2点)
- ③ 校務の情報化の研究 (1点)
- ④ メディアの利用、活用の研究 (5点)

助言者の大谷先生から、一人一人に丁寧なご指導、ご助言をいただき、次のような課題をいただいた。

- ・引用や参照などの文献を明らかにして、論を展開する必要がある。
- ・電子情報ボードと黒板の使い分けを考える。
- ・常に提示しておきたいものは黒板に、電子ボードは情報が変わるものを提示する。

なお、「父母と教師の教育を語る会(県教研)」には、次の二名が推薦された。

- ・生平小学校 杉山 康子先生
- 子どもたち一人ひとりの
メディアリテラシーの育成をめざして
- ・連尺小学校 佐渡 英彰先生
- 「コミュニケーション能力を高める子の育成」
効果的なICT活用をめざして

平成21年度全国自作視聴覚教材コンクール

5作品が入賞

平成21年度全国自作視聴覚教材コンクール(主催(財)日本視聴覚教育協会)において、本市から出品した自作教材のうち、今年度は、ビデオ5作品が入賞しました。なお表彰式は、9月11日(金)に東京で行われました。

【小学校部門】

●優秀賞

「菜の花が環境を守る」

岡崎市自作教材制作委員会C班

岡崎市視聴覚ライブラリー

菜の花の種、菜種は食用油の原料となる。食用油に利用された後の廃油は回収され、バイオ燃料などに加工・再利用されている。これらの活動は「菜の花プロジェクト」と呼ばれ、愛知県全域に広がっている。多くの地域で行われている活動を知るだけでなく、自分たちでもできる取り組みを考えさせる作品になっている。



【中学校部門】

●優秀賞

「酒蔵を守るー女性蔵人の挑戦ー」

岡崎市自作教材制作委員会A班

岡崎市視聴覚ライブラリー

女性の社会進出が増えている中、女人禁制だった酒作りに挑む、愛知県内でただ一人の女性蔵人がいる。ひたむきに挑戦する姿を通して、結婚や出産に対する周囲の理解とサポートなど、男女共同参画について考えさせる作品である。

●入選

「Water Miso Girls」

徳川家康杯にかける青春ー

岡崎市自作教材制作委員会E班

岡崎市視聴覚ライブラリー

「菌のはたらきー生活に役立つ菌類ー」

岡崎市自作教材制作委員会D班

岡崎市視聴覚ライブラリー

「地域のために何ができるか」

鑄物メーカーの挑戦ー

岡崎市自作教材制作委員会B班

岡崎市視聴覚ライブラリー

実践報告Ⅱ

「歴史新聞を作ろう」

梅園小学校 栗山 茂三

六年生の社会科で、全国統一をめざした織田信長、豊臣秀吉、徳川家康について学習する。この中から一人の武将を選び、その業績や生き方などを調べて、歴史新聞作りを行った。

まず一人調べでは、Web教材「歴史人物館」を利用した。この教材には、歴史上の人物に関する資料がたくさんある。パソコン室で一人一台のパソコンを使うことができたので、子どもたちは自分のペースで学習を進めることができ、意欲的に資料を選んでいった。

次に、「歴史人物館」の中にある「歴史新聞をつくってみよう」のページを利用して、新聞を作った。これは、新聞の枠を三種類の中から選び、資料の大きさや位置を自由に動かしてレイアウトすることができ、自分の新聞に必要な人物画や地図、写真、表、グラフなどを選んで配置し、印刷した。それに、文章を手書きして新聞を完成させた。



〔「歴史人物館」で新聞作り〕

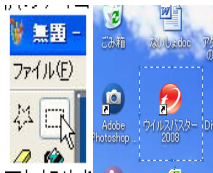
「歴史人物館」は、人物ごとの資料が分かりやすくまとまっております、子どもたちは、楽しく一人調べを進めることができました。また、「歴史新聞をつくってみよう」は、自分では作ることのできない図や表を、簡単に取り込むことができ、子どもたちの創作意欲も高まりました。

Ⅱレッツ・トライⅡ

プリントスクリーンキーとペイントの活用

パソコンを使って文書を作成しているときに、地図情報など、ディスプレイに表示されている絵や記号をそのまま使いたいと思った経験はないでしょうか。そんな時に便利なのが、キーボードの中にある「Print Scr」(プリントスクリーン)というキーを駆使した画像の加工です。「Copy」は、画面上に表示されている画像等を一時的にクリップボードにコピーしてくれます。このキーとWindowsのペイントなど画像処理ソフトやワードなどと合わせて使用すると、文書作成の幅が広がります。今回はペイントを紹介します。

- 1 コピーしたい画面を表示させた状態で「Fn」と「Print Scr」を同時に押す。
- 2 「スタート」↓「すべてのプログラム」↓「アクセサリ」↓「ペイント」で起動させる。
- 3 「編集」↓「貼り付け」をする。と先ほどの画面がペイント上にコピーされる。
- 4 「選択」のアイコンをクリックし、必要な部分をドラッグして囲む。
- 5 「編集」↓「コピー」で、必要な部分がコピーされる。
- 6 ワード、エクセル、一太郎など、貼り付けたいところに貼り付けて完成。
一度使ってみてはいかかでしょうか。



選択のアイコンと選択した範囲

六ツ美中学校 学習情報主任 加藤 光

ライブブライリーだより

●アジア国際子ども映画祭

三つすき 作品募集

この映画祭は、子供がホームビデオを使って映像作品を作り、その映像を通して自らの思いを伝える全国的なコンクールです。技術を競うのではなく、メッセージ性を重視したコンクールです。ぜひ、学校や家庭でお取り組みください。

◆応募締切 9月30日(水)

◆作品のテーマ・題材は自由

◆応募規定 ホームビデオで撮影した3分以内の作品で、1作者(1団体)につき1点のみ

◆申し込み・問い合わせ

アジア国際子ども映画祭実行委員会

<http://www.city.ibusuki.lg.jp/>

●CD・DVDコピー機

(デュプリケーター)のご利用を!

CD・DVDを同時に9枚までコピー可能なデュプリケーター(写真左)を視聴覚ライブラリーに



て利用できます。コンピュータを使わずにコピーすることが出来ますので、手軽に利用できます。文化祭や学芸会が近づくこの時期に、配布用のディスク作成等にご活用ください。(著作権等には十分ご注意ください。)